

令和5年第2回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和5年6月6日（火）・7日（水）午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
6月6日（火）【予定】	1	菊地 康彦	1 今後のまちづくりについて	町長 教育長
	2	品堀 栄洋	1 買い物困難者について 2 地産地消の取り組み強化について	町長
	3	伊藤 貞悦	1 小学校再編における今後の進め方について 2 我が町の特産品「りんご」の持続可能な将来構想について 3 町民が望む構想や具体的な政策・計画について	町長 教育長
	4	竹内 和彦	1 職員のメンタルヘルス不調について 2 ハラスメント対策について 3 新型コロナウイルス感染症対策について	町長
	5	渡邊千恵美	1 こども施策について 2 通学路環境整備について 3 地区防災計画について	町長 教育長
	6	大和 晴美	1 空き家等対策について 2 AED（自動体外式除細動器）の利活用について	町長
6月7日（水）【予定】	7	高橋真理子	1 観光・交流など賑わい対策について 2 自分らしい生き方ができる社会形成について	町長 教育長
	8	岩佐 秀一	1 子育て世帯支援について 2 農業振興地域整備計画の見直しについて	町長
	9	高橋 建夫	1 少子高齢化を見据え、持続可能なまちづくりについて 2 旧坂元中学校の利活用に係る検討経過について 3 町長公約の豪雨水害対策について	町長 教育長

6月7日 (水) 【予定】	10	岩佐 孝子	1 震災からのまちづくりについて 2 誰もが安全安心して住める町づくりについて	町長 教育長
	11	遠藤 龍之	1 物価高対策の取り組みについて 2 マイナンバーカードを巡る諸問題について 3 行政組織機構の確立について	町長

(11人 26件)

※6月8日まで延会する場合があります。

通告番号	1	11番 菊地 康彦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 今後のまちづくりについて</p> <p>東日本大震災から早12年。我が町は未曾有の被害を受け、復旧・復興に邁進してきた。併せて、平成29年4月1日、人口減少等からの理由により「過疎地域」に指定され、町は「過疎からの脱却」を目指し、人口減少対策や、賑わいの創出等の施策を行ってきた。</p> <p>しかし、近年、その方向性や施策が見えなくなっている。</p> <p>また、震災からの復旧・復興後を見据え、丘通り地区や、優先順位から置き去りにされた施策についても、何年か前から方向転換を言われてきた。</p> <p>その観点から、以下の質問を行う。</p> <p>(1) 過疎からの脱却のため、今後の方向性をどのように考え、どう過疎債を活用していくのか。</p> <p>(2) 津波防災区域1種、2種に居住の方々への今後の対応をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 東街道の安全対策について、どのような考えをもって計画をしているのか。</p> <p>(4) 高齢者へのスポーツ施策に対して、どのような対応と考えをもっているのか。</p> <p>(5) スポーツ少年団の活性化や、子どもたちが楽しめるスポーツの推進を、どのように考え、計画をしているのか。</p> <p>(6) 就農支援と定住促進を合わせた施策について、どのように考え、計画をしているのか。</p>	<p>町 長 教育長</p>

通告番号	2	2番 品堀 栄洋 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 買い物困難者支援について</p> <p>(1) 現状より多くの住民が地域公共交通を利用しやすくするために、民間等による運営体制などを検討し、有償のボランティアドライバーを募る等の工夫をしながら、町民バスの増便、及び運行エリアの拡大、並びに地域公共交通の無料化を講ずる考えはないか。</p> <p>(2) 現在実施している「福祉タクシー利用助成事業」について、障がいのある方に対してのみの事業ではなく、子育て世代や高齢者に対しての事業として拡充を図る考えはないか。</p>	町 長
<p>2 地産地消の取り組み強化について</p> <p>(1) 農水産物直売所の設置により、現在、我が町産の農水産物については、新鮮なうちに食卓に並べることができるようになった。しかし、農水産物の品物によっては、加工が困難な品物もあり、特に磯浜産の魚介類については、一定程度の処理（加工）技術がないと食せない魚介類もある。</p> <p>地場産品の一次処理（加工）がされた品物についても直売所等に並ぶことがあれば、家庭での加工に不安があるため購入することに躊躇していた地場産品についても購入されやすくなり、地産地消の強化が図られると考えることから、地場産品の一次処理（加工）場等を新たに設置する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	3	1番 伊藤 貞悦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 小学校再編における今後の進め方について</p> <p>(1) 学校の環境整備における最重要課題をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 学校再編を描いた「町づくり」の未来のビジョンや都市計画は考えているのか。</p> <p>(3) 地域住民や保護者と町・教育委員会における現状認識や理解の内容に乖離はないか。</p> <p>(4) 再編完了時期を意識しているのか。再編まで数年間（移行期）の子ども対策（児童・生徒への対応）をどのように考え、その計画はあるのか。</p> <p>(5) 新たな校舎等の建設を待つのではなく、準備から完了まで現在の校舎等を活用し、順次再編開始（現状の校舎等のまま再編をスタートし、新たな校舎等の完成を完了時とする。）することは考えられないか。</p> <p>(6) 現在利用している校舎等は今後も学校と地域の集会・避難施設（コミュニティー）、さらには放課後児童クラブの活動場所として利活用できるように、併用しながら活用する考えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 我が町の特産品「りんご」の持続可能な将来構想について</p> <p>(1) 町づくりの観点から、果樹農家の支援に対し、積極的に取り組む必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 中山間地域を「果樹・フルーツ団地等」として町で開発や奨励等をする考えはないか。</p>	町 長
<p>3 町民が望む構想や具体的な政策・計画について</p> <p>(1) 町民が「わくわく」「ドキドキ」するようなイベントや「夢」を持てる構想・計画はないか。</p> <p>(2) 小・中学生や若者との「交流会」や「懇談会」を考えられないか。</p> <p>(3) 郷土の誉れとなる「スポーツや文化における活躍者や功労者」に対し、新たに褒賞する考えはないか。</p> <p>(4) 「やまもとPR隊」等の制度を導入し、山元町のPRを、強く推し進める必要があると考えるがどうか。</p>	町 長 教育長

通告番号	4	7番 竹内 和彦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 職員のメンタルヘルス不調について</p> <p>(1) 町職員のメンタルヘルス不調による長期病休者が増えている。パワハラやモラハラの要因による実態把握と対策について、町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 復興が終わっても一向に減らない業務量により現場が疲弊していると考えられるがどうか。</p> <p>(3) 行財政改革により、これまで長く職員を削減してきたが、「職員削減の恒常化が当然である」との考え方を見直す時期に来ていると考えるがどうか。</p>	町 長
<p>2 ハラスメント対策について</p> <p>(1) ハラスメント相談苦情窓口へ寄せられていた事案をもとにハラスメント相談苦情処理委員会が開催された実態はあるのか。</p> <p>(2) 職員以外の者からのハラスメント相談苦情についての窓口は設置されているのか。</p>	町 長
<p>3 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症は5月8日より感染症法上の位置付けが2類から5類に移行した。これからは行政が一律に感染対策を求めるのではなく、個人や事業所の判断に委ねられることになり、個人の自主的な取り組みを基本とした考え方に大きく方針が変わることになった。</p> <p>(1) 我が町の感染対策について、現在の取り組みと今後の取り組みについて町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 5類移行によりコロナ感染症の流行監視の方法が感染者数の全数把握から医療機関の定点把握に切り替わった。更に感染者数の発表もこれで再流行に対応できるのかどうか町長の所見を伺う。</p> <p>(3) ワクチン接種による副反応に苦しむ多くの住民の現状把握と対策について町長の見解は。</p>	町 長

通告番号	5	5番 渡邊 千恵美 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 こども施策について</p> <p>2023年4月1日、国の新しい組織「こども家庭庁」ができました。こども一人一人が、自分らしく、健やかに幸せに成長できるように社会全体で見守り、支えることが重要だと考えます。</p> <p>国は、今まで大人が中心となっていた社会の形を「こどもまんなか」へと変えていこうとしています。次の5点に関して、町長の考えを伺います。</p> <p>(1) 町レベルの「こども政策推進会議」を設置する考えはないか。</p> <p>(2) こども基本法第10条に「市町村こども計画」を定めるよう努めるものとする。」とあるが、本町で定める考えはないか。</p> <p>(3) 支援対象児童等見守り強化事業に取り組む考えはないか。</p> <p>(4) 「フードバンク」や「こども食堂」の取り組みやニーズを把握した上で、現状の支援状況や今後の対策をどのように講じていく考えなのか。</p> <p>(5) 旧坂元中学校の施設活用について、こども施策を最優先とし、事業を進める考えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 通学路環境整備について</p> <p>通学路で危険な場所があると山元中学校の生徒が投稿し、新聞に掲載されました。事故が起きてからでは遅いのです。</p> <p>以前、私も、通学時の安全を確保するために、歩道が分離されていなく道幅の狭い町道の電柱を無くする施策の可否について一般質問で取り上げたこともあります。次の3点に関して町長の考えを伺います。</p> <p>(1) 通学路において歩行者の部分に赤色等の着色をし、より一層、注意喚起を図る考えはないか。</p> <p>(2) 横断歩道の白線が消えて見えない箇所を、早急に点検・整備をする考えはないか。</p> <p>(3) 通学路の側溝に蓋がない箇所を、早急に点検し、蓋をかける考えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>3 地区防災計画について</p> <p>本町の地区防災計画は、各区民に理解され、災害の際は、自助、共助、及び公助が連携し、スムーズに実施されることを望みますが、災害の備えは万全なのか伺います。</p> <p>(1) 各地区の防災資機材の備えの把握と今後の支援や対策をどのように講じていくのか。</p>	町 長

通告番号	6	4番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 空き家等対策計画の策定、及び法定協議会設置の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 適切な管理が行われていない空き家等に関する対策が大きな課題であるが、町長は、その対策をどう考えているか。</p>	町 長
<p>2 A E D（自動体外式除細動器）の利活用について</p> <p>(1) 本町におけるA E Dの配置状況と使用率について伺う。</p> <p>(2) 本町におけるA E Dの配置場所と使用方法の周知・啓発状況について伺う。</p> <p>(3) 傷病者のプライバシーに配慮するため、パッドを貼り付けた後、傷病者の体を三角巾で覆うことができるよう、設置しているA E Dに三角巾を配置する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	7	6番 高橋 真理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 観光・交流など賑わい対策について 新型コロナウイルスが5類に移行し、観光客など交流人口を増やす計画を 図るべきと考えるが以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 県では、タイや台湾で東北宮城の魅力をPRするイベントを開くとして いる。それと併せて仙台空港に近い本町へのインバウンド推進に向けての 計画を検討する考えはないか。</p> <p>(2) 「みちのく潮風トレイル」を活用した来町状況の把握と誘客対策を図る 考えはないか。</p> <p>(3) 良い波質で人気のサーフポイントがあるこの大事な観光資源をいかすた め、サーフポイント周辺の「道路整備」、「駐車場」、「トイレ」等の整 備を早める考えはないか。</p> <p>(4) サーフィンの「町長杯」のイベントを開催する考えはないか。</p> <p>(5) 子ども達の提案した親子で楽しめる『砂浜をきれいにして「砂浜でかけ っこイベント」』や子ども向けサーフィン体験会を開催する考えはないか。</p> <p>(6) 町出身者の歌手や著名人などを「ふるさと観光大使」として任命する考 えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 自分らしい生き方ができる社会の形成について 昨今、性的少数者などLGBTという言葉が一般的に知られるようになり、 多様性を受け入れ偏見のない社会を目指す流れが広まってきている。 ここ数年、性的マイノリティである方々を対象とした「パートナーシップ 制度」を導入する自治体が増え、今年の5月時点で321の自治体を導入し ている。</p> <p>(1) 本町でも「パートナーシップ制度」を導入する考えはないか。</p> <p>(2) 性的マイノリティの児童生徒についての把握やLGBT等の教育はなさ れているか。</p>	町 長 教育長

通告番号	8	3番 岩佐 秀一 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 子育て世帯支援について 移住・定住の促進を図り、物価や原油価格高騰の影響を受け、家計が圧迫され続けている子育て世帯を支援する必要があると考える。</p> <p>(1) 元坂元中学校の跡地を、子育て世帯用の移住・定住用地として、20年以上定住すれば土地は無償とする等の利活用する考えはないか。</p> <p>(2) 来年度に町内全小・中学生の給食費を完全無償化する考えはないか。</p> <p>(3) 子育て世帯支援施策に、今以上の財政調整基金と過疎債の有効活用を図る考えはないか。</p> <p>(4) 子育て世帯支援については、我が町の現状を考えた場合、最も優先順位の高い予算の有効活用と考えるがどうか。</p>	町 長 教育長
<p>2 農業振興地域整備計画の見直しについて 農業振興地域整備計画は、国のガイドラインによれば、おおむね10年毎に見直しをすることとされている。</p> <p>本町は、平成20年度の見直し後、東日本大震災が平成23年に発生したため、復興事業を優先したことから計画の見直しが遅れていた。</p> <p>しかし、今年3月の山元町東部地区農地整備事業の権利者会議において、換地計画が承認されたことにより、いよいよ農業振興地域整備計画の見直しに着手することになった。</p> <p>(1) 周辺農地が耕作放棄状態となっている山元南インター周辺について、農振農用地から除外する考えはないか。</p> <p>(2) 農業振興地域整備計画の見直しは、令和7年度上期で完了できるのか。</p> <p>(3) 令和7年度上期の計画決定までの間、農振農用地の除外受付中止期間を設定すると伺っているが、例年、個別に受け付けている小規模の農振農用地の除外申請についてもすべて受け付けを中止するのか。</p>	町 長

通告番号	9	12番 高橋 建夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 少子高齢化を見据え、持続可能なまちづくりについて 人口の自然減は、全国的な流れであるが、社会増を着実に進めるため、次の内容をいかに捉え計画的に進めるのか伺う。</p> <p>(1) 県内最高水準である若年層の新婚・子育て世帯の移住及び定住促進事業について、これまでの取り組みを検証した上で、今後も間違いなく継続出来るのか伺う。</p> <p>(2) 復興の総仕上げとして最大の課題であった東部地区農地整備事業で換地された非農用地の今後の活かし方については、今までの一年間、どのように検討され、どのような利活用を考えてきたのか。</p> <p>(3) 「小学校再編については教育委員会の方針どおり小学校区1学校区とする」と説明を受けたが、「小中一貫校か9年生の義務教育なのか」、また、「立地や財源の捻出」を明確にしないとスピード感をもって取り組めないと思うが所見を伺う。</p> <p>(4) 持続可能なまちづくりのためには、住民との対話が最も重要であることから、継続的な「ふれあいトーク」を早期に実施する考えはないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 旧坂元中学校の利活用に係る検討経過について 民間等からのアイデアを取り入れる公募型プロポーザルで利活用を進めているが、旧坂元中学校の利活用に係る検討経過において、以下の重要施策については、どのように検討され、どのような結論を出されたのか伺う。</p> <p>(1) 既存の公的施設で劣化が危惧される施設である中央公民館、勤労青少年ホーム、図書室、社会福祉協議会事務室、保健センター等の利活用については、どのように検討されたのか。</p> <p>(2) 基幹産業の振興策として、農業の担い手育成の拠点施設などの利活用については、どのように検討されたのか。</p> <p>(3) 新たな教育施設、子育て関連施設、及び高齢者福祉施設としての利活用については、どのように検討されたのか。</p>	町 長 教育長
<p>3 町長公約の豪雨水害対策について 町長公約のひとつに「豪雨水害対策など町民安全に欠かせない事業に優先に取り組み、多額の費用が必要で困難も伴うが、専門家の調査を行い、計画立案し、決意を持って取り組む」(抜粋)とある。 本町北部の行政区から何度も要請が出ている亘理用水路の下をまたぐ8本の「サイホン」(排水施設)のうち4本の改修工事の調査、計画、実施のスケジュール概要を伺う。</p>	町 長

通告番号	10	9番 岩佐 孝子 議員
------	----	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 震災からのまちづくりについて</p> <p>震災復興事業は概ね完了してきているとされているが、少子高齢化が急激な勢いで襲来している。震災後の事業の進捗状況や再生へ取り組みを、持続可能なまちづくりのため、各種事業における点検・評価・課題を含め、今後のまちづくりへどのようにいかしていくのか。</p> <p>(1) 災害公営住宅の入居者について、年数の経過に伴う世帯所得の変化や家族構成の変化などから発生する諸問題を把握し、今後の対策について</p> <p>(2) 今後の地域経済の再生と公共インフラの取り組み（被災事業者、観光、農業、道路など）について</p> <p>(3) 防災・減災関係について（防災訓練、防災教育等）</p> <p>(4) 震災以前に町で発行していた「山元町史1巻・2巻」書籍等を再版する考えはないか。</p> <p>(5) 住民の力を結集し賑わい創出のためのイベント（ふれあい市等）開催についての基本的な考えは。</p>	町 長 教育長
<p>2 誰もが安全安心して住める町づくりについて</p> <p>町民が生き生きと安全に安心して暮らせるまちづくりを目指し、下記の点について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 障害者雇用者促進法において、障がい者の雇用が義務付けられているが対策は。</p> <p>ア 町は自治体の職員として何人を雇用しているのか。雇用率は達成しているのか。</p> <p>イ 町内各企業での法定雇用率は達成されているのか。また、雇用率向上へつなげるための対策についてはどのように考えているのか。</p> <p>(2) 障がい者が安心して暮らせるための生活環境整備について、どのように対応しているのか。</p> <p>ア ショートステイやグループホームなど自立に向けての対策はどのように考え、対応していくのか。</p> <p>イ 通院などに利用するためガソリン券、タクシーチケット券を発行しているが、諸物価高騰により補助金額を上げる考えはないか。</p> <p>(3) 誰もが安心して住み続けられる町づくりへの基本的な考えについて伺う。</p>	町 長 教育長

通告番号	11	8番 遠藤 龍之 議員
------	----	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 物価高対策の取り組みについて 物価上昇はおさまる気配はなく、2月だけで約5,500品目、4月までに10,000品目を超える値上げが予定されており、実施されていると思われるが、さらに6月には電力料金の大幅値上げが予定されている中で、町民の暮らし支援策が取り組まれているが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 国の支援策、町独自の支援策等、町の各種取り組みの現状は。</p> <p>(2) 国の支援策を受けての取り組み等、取り組むにあたっての町の考え方は。</p> <p>(3) 町の現状にあった今後の取り組みは。</p>	町 長
<p>2 マイナンバーカードを巡る諸問題について マイナンバーカードを巡り、個人情報流出につながるトラブルが相次いでいる。</p> <p>住民票のコンビニ交付、健康保険証とマイナンバーカードが一体化したマイナ保険証に続き、公金受取口座とのひも付けでも判明。</p> <p>保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化し、マイナンバーの用途も広げる改正法案の成立を間近に控えていたが、国会審議に影響しかねない事態になっており、国民の不信は高まっているが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 町での影響はあるのか。今後考えられることは。</p> <p>(2) 国保事業でのマイナンバーカードとの一体化への対応は十分か。</p> <p>(3) 混乱を避けるための対応を国に求める考えはないか。</p>	町 長
<p>3 行政組織機構の確立について 新たなまちづくりを進めていくために、行政組織機構の確立で住民サービスのさらなる向上が望まれるが、次の点について伺う。</p> <p>(1) この間の行政組織機構の見直し等の取り組みについて、質の高い行政サービスの提供は対応できているか。</p> <p>(2) 班制導入の成果をどうみているか。</p> <p>(3) 事務マニュアル策定に基づく取り組みの現状は。</p>	町 長